

第2次新城市観光基本計画（案）パブリックコメント実施結果

	提出された意見	意見に対する市の考え
1	<p>我が市の1番の観光資源であろう設楽原古戦場を観光での人の入り込みのために、上手く活用しきれてないと感じます。そのために</p> <p>1、馬防柵 への案内看板を国道151号に設置する。</p> <p>現在設置されてないと思います。多くの人を知っているとされる柵への道案内がないのは残念です。</p> <p>2、「設楽原合戦があった一帯がこのあたりですよ」という案内がない。せっかく、その一帯を国道が貫いてるのだから大きな看板設置してアピールすべきです。そして、道の駅に行く人たちを少しでも手前で止めて散策してもらい市中心部にも引き入れなければ。新城には道の駅しか目的地がないのでは寂しい限りです。</p> <p>案内の方法ですが、現在大宮とある信号を設楽原古戦場に変更する。歩道柵に設楽原古戦場の文字を入れるなどどうでしょうか？</p> <p>また、多く市外からも人を集める合戦場ウォーキング大会を何回かに分けたら全て回り切れるようにして開催してはどうでしょうか？当の市民も詳しい事を知らない人は多数です。市に誇れる物があることをもっとアピールすべきです。そうして、市に愛着を持たせることが人口流出にも繋がると思います。歴史的にも戦術的にも貴重な合戦、教科書に載る合戦をもっと有効に活用してほしいです。</p>	<p>設楽原古戦場は、本市の観光資源として重要な位置づけを占めるものと認識しています。そのため、本計画（案）に関しても武将観光は推進項目の一つに掲げています。</p> <p>具体的な看板設置および信号などへの文言併記については、過去第1次観光基本計画期間で議論をしてきた内容でもあります。その中で、市内事業者により、国道沿いの看板設置なども取り組まれてきました。本市としましても、古くから地域の中で親しまれてきた、「大宮」、「東郷」といった地域の名称を尊重しつつ、地域が主体となって行う武将観光を支援していきたいと思っております。</p> <p>また、市民向けのウォーキングイベントの実施についても、市内で武将観光を推進する観光ボランティアガイド団体の皆様と協働しながら、実施していくことも現在検討しております。これら、具体的な項目は、別途定めるアクションプランに記載します。</p>
2	<p>鳳来寺山は紅葉が綺麗ということで、毎年11月に、市三大祭りの一つ「もみじ祭」をし、観光客を誘致しているが、今の紅葉の魅力を維持するには、もみじ捕植・剪定・周囲の整備を計画的に行う必要がある。新しいアイデアというか、観光客を引きつける「何か」を作ることも大切。例えば、東照宮の周囲にシャクナゲを植え、「シャクナゲ東照宮」という所を作る。今使っていない国民宿舎(?)を取り壊し、跡地に遊具・便所・椅子等を設置して、紅葉公園または〇〇公園と呼べる場を作るとか、子どもの遊ぶ場を作れば、憩いの場にもなる。20年通っていてこんなことを市役所に頼みたいと思った。なんとなく、鳳来寺山（紅葉）が寂れて行くような気がする。</p>	<p>鳳来寺山は、本市の重要な観光資源の一つであり、歴史、文化、自然など多くの魅力を有します。また、例年開催している鳳来寺山もみじまつりは、地域の方との協働で運営していますが、もみじの整備については実行委員会の中で毎年議論になっています。年ごとの賑わい創出のみならず、将来的な観光地の保全のためにも、所有者との調整を図りながら、もみじの保全に努めてまいりたいと思っております。</p> <p>また、国民宿舎については、所有物として市の持ち物でないため、利活用の検討は所有者との協議からはじまるものと考えます。</p>
3	<p>阿寺の七滝は「安倍清明」が修行をした地として、周知も少なく、本気で「清明」のコスプレを考えたこともあります。安倍清明を活用したPRチラシはどうか。</p>	<p>本市には、自然の景勝地である「滝」は市内各所に点在します。特に阿寺の七滝は、子抱岩、日本の滝百選への選出がされる本市が誇る名勝です。ただし、安倍清明が若いころ修行をした記録は、史実としてははっきり残っていません。そのため、情報発信の一つとして活用しておりません。</p>
4	<p>1ページ 4行目 「旧市町村」が出てきますが「合併した旧市町村」のほうが丁寧でわかりやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見のありましたとおり、1ページの4行目を「合併した旧市町村」の表記へ修正させていただきます。</p>
5	<p>4ページ (2) 1行目 550mの作手高原の表現は適当か。標高に幅を持たせなくてもいいか。</p>	<p>ご意見のありましたとおり、4ページ(2)の表記方法を、約550mと幅を持たせた表記に修正します。</p>

6	4ページ (3) 2行目 「山の湊」の前に「豊川による舟運と南信州に向かう陸運の中継地としての」といった修飾は必要ではないか。	ご意見のありましたとおり、「山の湊」の表現が分かりづらいため、「豊川による舟運と南信州に向かう陸運の中継地としての」といった修飾表現を追記します。
7	10ページ 10行目 「全国展開のビジネスホテルの展開」の表現は、「全国展開のビジネスホテルの開業」がよいのではないのでしょうか。	ご意見のありましたとおり、展開といった表現がそぐわないと感じたため、10ページ10行目の表記を「開業」へ修正させていただきます。
8	14ページ 14行目～15行目 「本市の観光分野の核として振興が期待されます。」の表現は、市も振興の担い手であるため、「本市の観光分野の核として位置付けています。」くらいの表現はどうでしょうか。	ご意見のありましたとおり、14ページ14行目～15行目の「本市の観光分野の核として～」の表記について、本計画が本市で定めるものであるため、「核として位置付けています。」へ修正させていただきます。
9	29ページ (1) 目指す姿 6行目 「新城ツーリズム」を切り開いていくこと」の表現を「「新城ツーリズム」切り拓いていくこと」として市の総合計画「つながる力 豊かさ開拓」などとの整合を取ったらと考えます。	ご意見のありましたとおり、第2次新城市総合計画と整合性を持たせた形で、29ページ(1) 目指す姿6行目を修正させていただきます。
10	総括(1) 観光施策の展開に対する視点 時代変化への対応 (Withコロナ、SDGsへの対応)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う変化については、感染症の影響が昨年からであることや基本計画期間の9年間に比べ感染症の影響期間が短いことから、具体的に掘り下げてはいません。しかし、別途定める前期アクションプランに、感染症の影響で変化する観光業界について記載する予定です。なお、SDGsの項目は、6ページの下段へ追記します。
11	総括(2) 予算と事業の選択と集中 (イベントの見直し) 「戦国 時代まつり in しんしろ」などのイベント名の変更 (のぼりまつり、決戦場まつり、などにこだわらない)	市内戦国関連イベントは、戦国絵巻3部作として各地区を中心として親しまれています。それぞれのイベントが地域主導のイベントであるため、地域意向に合わせ、イベントの見直し、名称の変更も検討します。
12	総括(3) 観光まちづくりの市民参画の具体的方法 (高齢者の活用も含め)	観光まちづくりの市民参画の方法として、観光課で主体的に参画を広げる場合と地域主導で独自に観光まちづくり活動をしている場合があります。観光課が主体的に取り組む参画方法として、観光イベントへのボランティア参加の拡大があげられます。また、市民主導型として、地域計画と連動した事業実施や地域活動交付金の活用による事業実践があげられます。 また、人生100年時代・生涯現役と言われる中、高齢者の活躍は本市には欠かせません。そのため、地域に根付く歴史・文化の継承など、積極的な観光まちづくり活動への参画を期待しております。

	その他意見
1	名古屋行き高速バス買い物ツアーは計画して欲しい。観光に力を入れるのはいいことですが、市民が食事を市内でする際に食事する店が少なく、豊川の方へ流れることもあるようです。
2	伝統芸能を一度に見られるホールなどがあると良い。(バスツアーとして組み入れる)